安丘徳隆寝装用品はふと

青島徳隆紡織(山東省)、安 の寧波明輝寝具(浙江省)、

動キルティング機導入

たが、需要の高まりから20

生産性を高めて対応する。

徳隆寝装用品(同)のグ

月産能力は11万枚に上る。

さらに、増えつつある二

産能力を1・5倍に増強。 年7月に設備を追加して生

中間でダブルフォロ

いる。

一貫管理を実現して

荷役作業の効率化や省人化

を目的に、保管棚のラック

|24年問題||見据え設備投資

ックドライバーの時間外労

グに設備投資しており、1

などマテリアルハンドリン

24年4月1日から、トラ

働時間の上限規制が強化さ

れる 「2024年問題」 へ

外部を含めて大阪府内に物

人当たりの効率を高める。

寧波明輝寝具 毛布の縫製 境規制に対中国の環 で、安定供 加工設備を 給のため、 がある中 業する企業 応できず廃



安丘徳隆寝装用品

ロジテック

本格稼働した。21年7月に を新設し、18秋冬向けから はコンフォーターキルトマ んなどの対応力を高める。 ンン2台を導入し、肌ふと

ける。2017年に山東省

-は年間400万枚を手掛

する。寝具以外の生産も手

00%出資し、05年に中国

ック(大阪府貝塚市)が1

掛け、キルティングやボン

省)を創設。07年5月には

がある。検品、保管、ピッ

キング、提携による輸出ス

りやテレビ通販ルートへ販 オルは、大手スポーツ小売

ている。ウィンブルドンタ 公式タオルとして採用され

に青島友都国際物流(山東

るとともに、検品場には小

規模な備蓄、在庫スペース

トケットを生産する。日本 んカバーや敷パッド、キル

専用ミシン10台を20年秋に どに対応するため、ニット ット使いのふとんカバーな

る。グループ会社のロジテ もリュクスの強みに挙が

で、日本人常駐者、中国人

の対応も進める。ドライバ

の検品経験者が監督、指導

て、作業員の負担が大きい

利便性を高める。

倉庫を設ける予定で顧客の

流拠点が3カ所あるが、

不足や輸送停滞を見据え

検品・物流機能を持つ点

現在16台体制で生産

凹けが主力で、 ふとんカバ

済寧市にキルティング工場 ディングしたラグを20年か ら生産する。

率を高め、物流コストの低 機の台数を増設して積載効 ため、圧縮梱包(こんぽう) コストアップに対応する

した。 **廈門支店(福建省)を開設**

18年8月、山東省棗庄市に 1月に同省内で移転新築 し、従業員約80人。さらに 従業員100人規模の分室 青島友都国際物流は19年 られる。同支店は20年6月 流コストの合理化へつなげ 面積は4千平方
がに上る。 業務の一貫輸送が可能で物 に同省内で移転し、延べ床

を幅広く担う。 靴、日用雑貨)の検品、検品(衣類、服飾、寝装品、 針、保管、物流、貿易業務 これらの拠点で各種縫製

約1万2千平方
どの物流セ ンターがある。中国、国内 国内には大阪府貝塚市に

式高いデザインを特徴と 取得済み。クリスティは格 ティ」の国内独占販売権を し、1988年からテニス

める。英国の歴史あるタオ ランドの展開を積極的に進 ル・寝具ブランド「クリス 製品では、ライセンスブ スマセル」と資本業務提携

荷低減につなげる。 の民族衣装向けに国産プリ アッション分野の取引先の ント生地を輸出するダイブ の出資を通して、ホームフ 在庫問題に対応し、環境負 19年に結んだ。スマセルへ るウィファブリック(大阪 イト「スマセル」を運営す 巾西区)と資本業務提携を 在庫を売買できるBtBサ 20年に買収した中東など さらに生地や繊維製品の

リュクス

迷する中、省人化・効率化を追求し、 貫体制を構築している。国内需要が低 検品、物流まで自社グループによる一 産・物流拠点を持ち、企画から製造、 ス(大阪市西区)は、日本と中国に生 寝装・インテリア企画製造のリュク

り、「生産の省人化、効率化 リア市場が低調なこともあ の高い中わたを採用するな ィングマシーン7台を導入 モノ作りを行う。 どして圧縮梱包に対応した した。日本の寝具・インテ 23年に入って自動キルテ スや枕、クッションを生産 2台、本縫いミシン100 4台、プロファイル加工機 台、3Dウレタンカット機 連続発泡機1台、モールド 台などを備えて、マットレ 成型機5ライン、圧縮機7 寧波明輝寝具はウレタン

減に努める。圧縮するとへ たりやすくなるが、復元力 を重視」(金子忠正社長)し た取り組みを進める。

青島徳隆紡織

いる。

日本向けが30%だった 内協力工場も含めて年間約

販売先は欧米向けが70

る。カバー類が主力で、

玉

企業認証も取得して 「J8クオリティー」 純正国産表示制度 品縫製)は20年1月、

300万個、マットレス約する。年間生産能力は枕約 め、20年に自動圧縮機3台 する。物流コスト上昇への 対応や作業効率化を図るた 80万枚に上る。 18年からス ノリングマットレスも生産 設した縫製工場「リュクス の貿易業務を担う。 本向け市場を重視する。 注の減少が続いており、 一房」(愛知県蒲郡市)があ 国内には、17年6月に開 青島徳隆紡織は日本向け 消費減退で米国向け受 日

構築する。リュクス 25万枚の生産体制を リュクス工房(寝装 (生地の販売)と、

Find The Comfortable Living 快適な生活を創造する 常に新しい価値観で、機能的でデザイン性のある ホームファッションを作ること。